

# 県政報告

広島県議会6月定例会は6月24日から7月2日までの9日間の日程で開催され、令和元年度の補正予算、関連する条例などが審議されました。

## ■令和元年度補正予算（6月補正）

**補正予算額 295百万円**

令和元年度当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に適切に対応することを基本として、創造的復興による新たな広島県づくりや、「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた取組などに時機を逃さず対応します。

### 1 創造的復興による新たな広島県づくり 114百万円

#### （1）未来に挑戦する産業基盤の創生 [114百万円]

##### ○ 小規模事業者への支援

小規模事業者の事業再建と持続的発展を図るため、被災した小規模事業者に対して、販路開拓等の事業再建に取り組む費用の一部を助成

#### （2）将来に向けた強靱なインフラの創生 ※債務6,000百万円

##### ○ 災害復旧事業

災害復旧工事における、不調・不落の増加に対応するため、工事着手日選択型契約方式による発注の拡大を行うことに伴う工期確保のための債務負担行為の設定

### 2 「欲張りなライフスタイル」の実現の加速化 170百万円

※基金積立を除く実質事業費は85百万円

#### （1）希望をかなえるための後押し [29百万円]

《多様な人材の就業支援》

##### ○ 外国人材の受入・共生対策

外国人材が県内企業で活躍し、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、「就労環境」「生活環境」の両面から受入環境を整備するための取組を検討・実施

#### （2）ゆとりの創出 [111百万円]

《世界と直結するビジネス支援》

##### ○ 広島空港の拠点性強化（26百万円）

広島空港の中核拠点性を高めるとともに、グローバルゲートウェイ機能の強化を図るため、路線拡充に向けて地上支援業務の体制整備に要する経費の一部を支援

《担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立》

##### ○ 森林環境譲与税基金への積立（85百万円）[基金積立]

令和元年度に創設された森林環境譲与税を「広島県森林環境譲与税基金」へ積み立てるとともに、森林経営管理の推進に活用

### (3) 地域活力の基盤づくり [30百万円]

#### 《都市圏の活力強化》

##### ○ 広島都市圏の魅力創造 (2百万円)

広島都市圏の中核拠点性の向上を図るため、県と広島市が連携して、多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、都市開発事業等の促進に係る調査を実施

##### ○ サッカースタジアムの基本計画等の策定 (28百万円)

広島都市圏の中核拠点性の向上を図るため、県と広島市が連携して、多機能化・複合化による広域的な集客力を持つサッカースタジアムの基本計画を策定

## 3 その他

11百万円

##### ○ 旧優生保護法一時金支給等事務 (11百万円)

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給における、請求の受付、相談支援、制度の周知・広報などを実施

### ■条例 [8件]

#### 【新設】(1件)

○広島県森林環境譲与税基金条例

#### 【改正】(7件)

○広島県がん対策推進条例の一部を改正する条例 など

### ■人事案件 [3件]

○広島県副知事の選任の同意について など

### ■その他の議案 [20件]

○工事請負契約の変更について など

### ■180条専決処分報告 [3件]

○損害賠償額の決定について など

### ■報告事項 [7件]

○県が資本金の四分の一以上を出資等している法人の経営状況説明書 など

### ■意見書 [3件]

○外国人材の活躍を促進する環境整備等を求める意見書

○ため池の防災・減災対策に対する財政支援の充実を求める意見書

○地方財政の充実・強化を求める意見書

## ため池の防災対策 ～防災重点ため池が新たな基準で再選定～

### ■ 農業用ため池の現状

ため池は、降水量が少なく大きな河川に恵まれない地域の農業用水を確保するためのもので、広島県内は全国で2番目に多い19,772箇所（福山市2,198箇所）が存在し、多くは江戸時代以前に築造されたものです。

### ■ 平成30年7月豪雨によるため池の被害と対応

多くの被害が発生し、福山市駅家町では上流のグランドの崩壊により下流の2つのため池が決壊しました。

県では、約13,000箇所のため池を陸路や自衛隊の協力のもとにヘリコプターによる緊急点検を実施し、損壊等により対処が必要なため池は、市町やため池管理者等が応急措置を実施するとともに降雨予測や水位計などによる監視体制を強化しました。

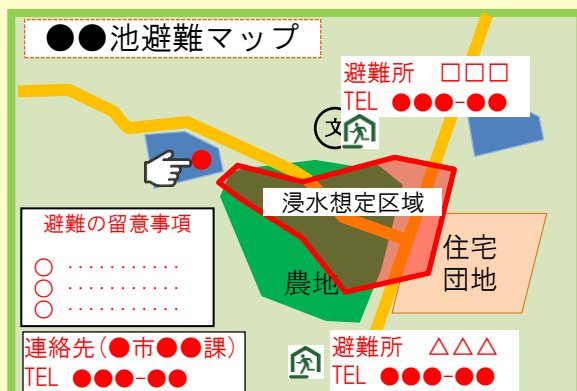
### ■ ため池の防災・減災対策

県議会では、ため池の防災・減災対策の重要性に鑑みて、平成31年2月定例会及び令和元年6月定例会で、法制化や防災・減災対策の推進、財政支援を求める意見書を議決し、国へ提出しました。

その後、農業用ため池の管理及び保全に関する法律（令和元年7月1日施行）が制定され、国の支援の形が整備されました。

さらに県では、国が見直した選定基準により、防災重点ため池を503箇所（福山市175箇所）から8,167箇所（福山市1,110箇所）に拡大し、今後3年間で集中対策期間として、次の方針により対策を行うこととしています。

- (1) ため池マップやハザードマップ等の作成と公表など地域住民へ分かりやすく防災情報を提供することにより、迅速な避難行動につなげる。
- (2) 決壊した場合に人的被害を与えるおそれがあるため池は、すべて新たな「防災重点ため池」に選定し、適切な管理体制の確保と整備工事などの補強対策を推進。
- (3) 農業用水として利用しなくなったため池のうち、決壊した場合に人的被害を与えるおそれがあるため池は、所有者等の合意を得ながら順次、廃止を推進。



〔ハザードマップのイメージ〕



〔ため池の廃止〔堰堤解体〕〕

**古市排水機場の増強に着手**  
～浸水被害の解消に向け、排水ポンプ能力を増強～

- 古市排水機場（排水能力：2.0 m<sup>3</sup>/s）は、高屋川の堤防に囲まれた地域の浸水対策として、昭和 54 年に整備されました。一方、近年の市街地化に伴う治水安全度の低下などにより、平成 30 年 7 月豪雨では、床上浸水：19 戸、床下浸水：72 戸の浸水被害が発生したことから、令和元年度、ポンプ能力を増強する事業に着手しました。
- この事業は、令和 3 年 6 月までに、古市排水機場に新たに 2.4 m<sup>3</sup>/s のポンプを増設するもので、事業費は約 5 億円です。事業完了後は、排水能力が 4.4 m<sup>3</sup>/s となります。今年度は、3 億円を投資し、詳細設計やポンプの製作を進めております。
- また、事業が完了するまでには一定の期間が必要となることから、事業期間中の浸水対策として、本年 6 月に仮設水中ポンプ（排水能力：0.5 m<sup>3</sup>/s）が設置いたしました。既設の排水ポンプと合わせて 2.5 m<sup>3</sup>/s の排水能力を確保しつつ、着実に古市排水機場の増強を図っています。

〔古市排水機場〕



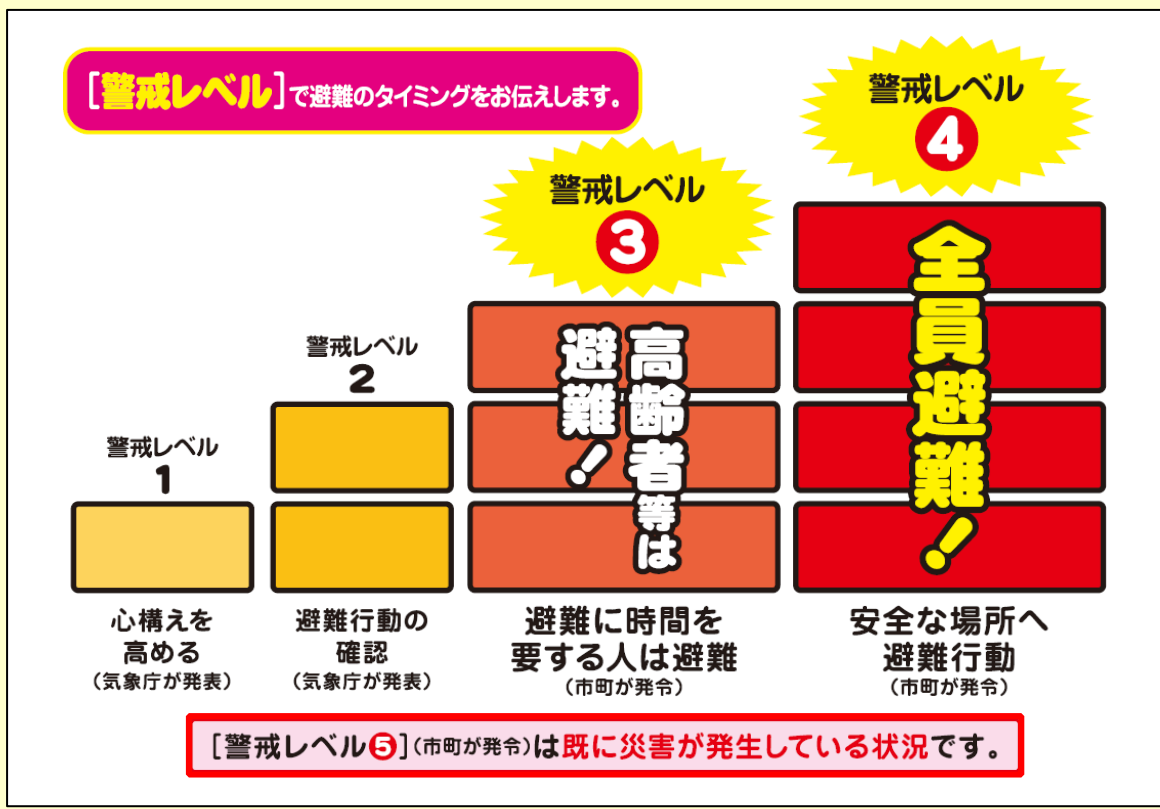
〔平成 30 年 7 月豪雨 浸水状況〕



〔設置された仮設水中ポンプ〕

**新しい防災情報として警戒レベルが運用開始**  
 ～5段階の警戒レベルで、とるべき行動が直感的～

- 今年の出水期（6月頃）から、住民がとるべき行動を5段階の警戒レベルに分けた避難情報の発令が運用されるようになりました。
- 市町から「警戒レベル③、④」が発表された地域にお住まいの方は、速やかな避難をお願いします。



警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 (市町が発令)
警戒レベル 4 <b>全員避難</b>	速やかに避難をしましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) (市町が発令)
警戒レベル 3 <b>高齢者等は避難</b>	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	警報級の可能性 (気象庁が発表)



〔避難訓練の様子〕

県立歴史博物館が開館30周年を迎えます！  
～世界が絶賛した浮世絵師「北斎」-師と弟子たち～

■ 広島県立歴史博物館（福山市西町）は、川底に埋もれた中世の町として全国的に有名な草戸千軒町遺跡を中心に、瀬戸内地域の民衆生活と文化に視点を当てた博物館として、平成元年11月3日に開館し、今年で30周年を迎えます。昨年度に、国重要文化財「菅茶山関係資料（指定点数5,369点）」の常設展示室を整備し、現在、「瀬戸内の歴史をたどる」「よみがえる草戸千軒」「菅茶山の世界」の3つの常設展示や様々な企画展示を行っています。

ぜひ、日本の歴史文化に触れてみてください。

**（1）世界が絶賛した浮世絵師「北斎」-師と弟子たち-《開館30周年記念 夏の企画展》**

葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」や「東海道五十三次」などのシリーズものから、役者絵、妖怪絵などの版画のほか、希少な肉筆画などの北斎作品を、弟子の作品も加えて御紹介します。9月8日（日）まで開催

【入館料】一般1,000円（800円）大学生800円（640円）高校生520円（410円）中・小学生350円（280円）

※（）内は前売券と20名以上の団体料金



〔監修者（中右瑛さん）による展示解説〕



〔企画展チラシ〕

**（2）近世文化展示室「菅茶山の世界」**

菅茶山（1748～1827）は、教育者として備後国神辺（現在の福山市神辺町）に私塾「黄葉夕陽村舎」（のちに藩の郷塾「廉塾」）を開設して人材の育成に尽力するとともに、江戸時代後期を代表する漢詩人として活躍した人物です。茶山と関係した人々が作成・収集を行った学問・文芸・芸術に関する資料を公開しています。

《8月8日（木）～10月6日（日）のテーマ》

常設テーマ1「菅茶山－菅君詩を以て世に鳴る－」

常設テーマ2「廉塾－菅茶山の教育拠点－」

特集テーマ「菅茶山の家族たち」

※資料は2か月ごとに入れ替えています。

【入館料】一般290円（220円）大学生210円（160円）

高校生まで無料 ※（）内は20名以上の団体料金

★詳しくは、HPをご覧ください。

広島県立歴史博物館

検索



〔菅茶山肖像〕